

きゅうかみやまだまちしよゆうこもんじよ  
「旧 上山田町所有古文書」

- 指 定 千曲市指定有形文化財（古文書） 昭和 62 年 1 月 27 日
- 所 在 地 千曲市大字桜堂 268-1 千曲市文化財センター
- 所 有 者 千曲市
- 概 要 旧上山田町所有の古文書 199 点のうち、55 点で 72 冊。  
\*昭和 50 年の役場火災の際一部焼失。
- 時 代 江戸時代から明治初期
- 公 開 非公開

江戸時代初期の寛文 6 年（1666）の<sup>あらやまむら</sup>新山村の<sup>そうだかあらためちよう</sup>惣高改帳をはじめ、<sup>てんな</sup>天和、<sup>ほうえい</sup>宝永、<sup>しやうとく</sup>正徳年間の上山田村、新山村の検地帳など貴重な古文書です。古い検地帳による田畑の石高、所有状況がわかるもの、<sup>しゅうもんちよう</sup>宗門帳、<sup>ごにんぐみちよう</sup>五人組帳は当時の人口や家族構成を知ることができます。

また、自然の災害による修復状況・国役・郡役・<sup>じぶしん</sup>自普請の様子、干害・霜害などによる不作に対する農民の苦しさや願いを知るうえの貴重な史料のほか、松代藩の<sup>ちぎようどりせい</sup>知行取制、上中武士は直接所領を各村中に与えられた実態のわかるものなど様々です。

江戸時代は、しばしば儉約令が出されていますが、村中での自治的取決めや、村内での申し合せ事項は村民生活の実態がわかる史料として貴重です。

行政、交通、産業、村及び住民の経済生活・文化の実態を知る具体的な史料です。

